

## 人権・同和教育

### 1 目 標

人権教育や同和教育の実践・歴史から学び、身のまわりの差別や差別につながる様々な問題・不合理に気づく感性を高め、協力し合って解決しようとする実践的態度を育てる。

### 2 努力点

- (1) 生命を大切にすることを育てる。
- (2) 子どもの未来・生きていく力を保証する学力や豊かな心、基本的生活習慣等を育成する。
- (3) 各教科、特別活動、総合的な学習の時間、道徳の時間等の指導と実践を通して、人権意識を高め、定着させる。
- (4) 子どもどうしの関わりを大切に、互いを認め合い助け合う、心の通う学級経営及び授業に努める。

### 3 具体的な取り組み

- (1) 学習や遊びのなかで友達の意見や気持ちを大切に、互いに尊重し合う子どもを育てる。
- (2) 人権学習の授業を通して、生命の大切さを理解させる。
- (3) 学級の中で気にかかる子に対しては、特に配慮して学級づくりを進め「松江っ子」等で交流する。
- (4) 自分を大切に、他の人も大切にすることが認められている学級経営や学校経営を行う。
- (5) 朝の会や帰りの会で、子どもどうしの関わりを大切にする。
- (6) ・人権教育に関連する教科や単元、題材の指導を研究し、充実をはかる。  
・研究会、研修会、講演会等に積極的に参加し、研修を深める。  
・PTAと協力して、講演会、保護者学級等を充実させる。

### 4 学年目標

学年	学 年 目 標	学 年 具 体 目 標
1	集団生活の中で、自分の考えや言いたいことを自由に出し合える仲間づくりをする。	・だれとでも仲良くする。 ・人の話をしっかり聞く。 ・思ったことや感じたことを自分の言葉で話す。
2	自分のことだけでなく、友達のことにも心を向け、みんなと仲良くできる子どもを育てる。	・身近な問題に気づく。 ・人の意見を最後まで聞く。 ・自分の思ったことや感じたことを話す。
3	友達の良さを知り、仲間を大切にしていける子どもを育てる。	・友達の意見をわかろうと努力する。 ・学級内の問題を見つけ解決しようとする。 ・相手に理解してもらえるように話す。
4	身近な問題に気づき、すすんで解決しようとする子どもを育てる。	・友達とはげまし合い、助け合う。 ・友達の意見をよく聞いて、自分の問題としてとらえ、自分なりの考えを持つ。
5	生活の中で起こる問題を、みんなの問題にして、相手の気持ちや立場を考えて解決しようとする態度を養う。	・友達をよく理解し自他を大切にする。 ・どんな小さな問題でも、学級活動や終わりの会で話し合う。 ・自分の問題として受けとめ、すすんで意見や考えを出す。
6	生活の中で起こる矛盾を意識的にとらえ、それを発展的に解決していこうとする態度を養う。	・社会科学習を人権教育に留意して進める。 ・正しい判断力を身につけ積極的に行動する。 ・身近な人権問題について科学的な認識を深める。